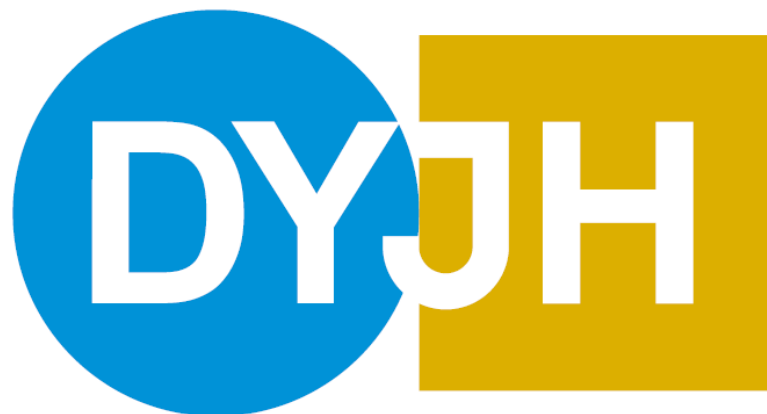




ダイナムジャパンホールディングス

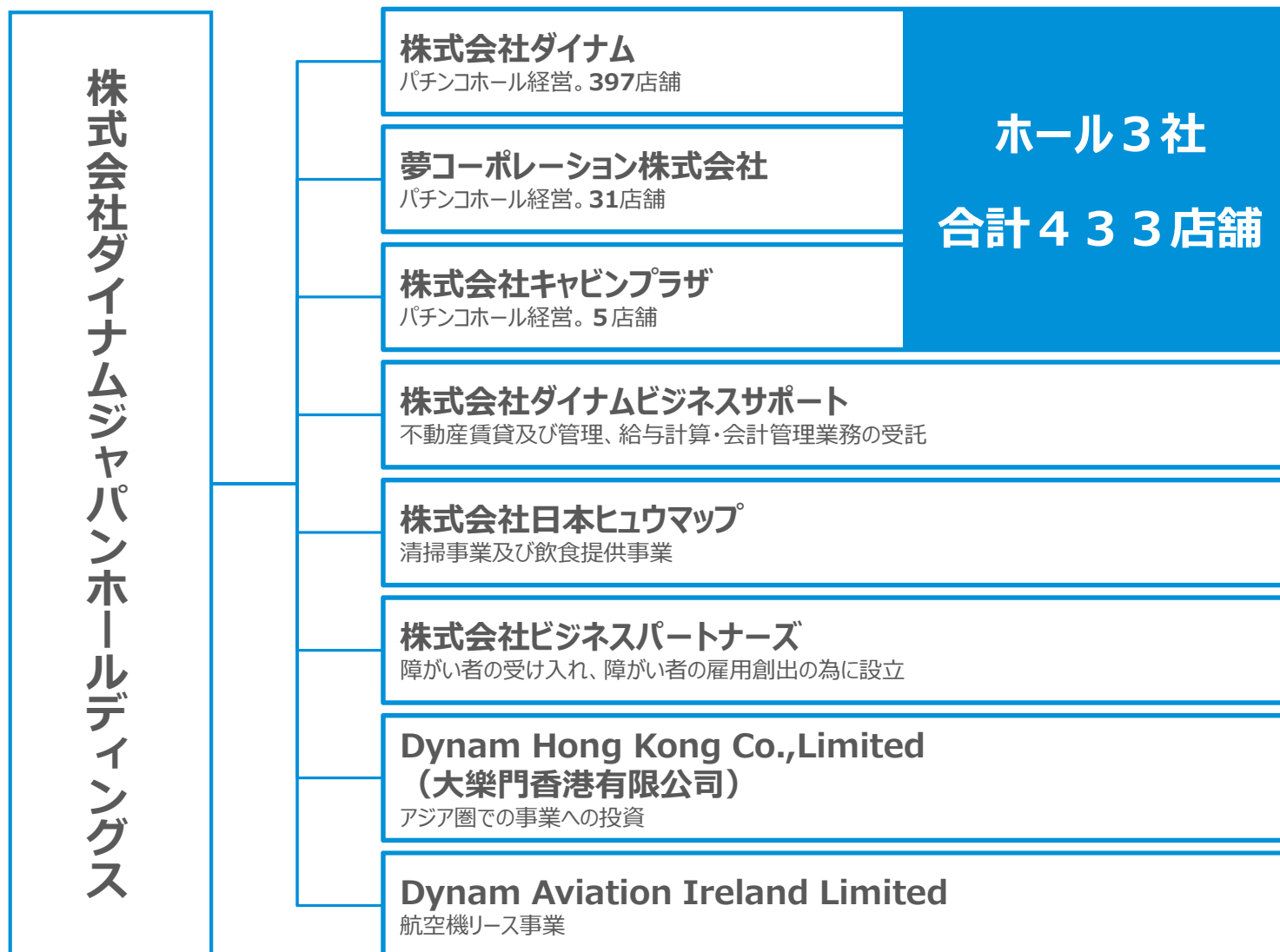
2024年3月期 決算説明会

2024年5月27日

【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコ事業（基幹会社ダイナム）
4. 航空機リース事業
5. 財務概況

DYJHグループ企業組織図（2024年3月31日現在）



【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコ事業（基幹会社ダイナム）
4. 航空機リース事業
5. 財務概況

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）

（単位：百万円）

	当期	前期	増減	前期比
営業収入	130,363	117,206	+13,157	111.2%
営業利益	8,983	6,764	+2,219	132.8%
当期利益	3,385	1,798	+1,587	188.3%
EBITDA	53,205	43,729	+9,476	121.7%

- ① 営業収入は、パチンコ事業におけるスロットの増収、航空機リース事業における保有機数の増加に伴うリース収入の増加により大幅な増収を達成。
- ② 利益面では、遊技機償却費をはじめとするパチンコ事業費用の増加を吸収し、増益を確保。
- ③ EBITDAについては、営業利益の増益、遊技機減価償却費の増加を主因に前期比9,476百万円増加。

2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

項目	当期	前期	増減	概要
店舗数	397店舗	392店舗	+ 5 店舗	開店 7 : M & Aにより7店舗取得 閉店 2 : 宮城仙台一番町店、宮崎三股店
パチンコ稼働率 (※①)	28.0%	29.5%	▲ 1.5pt	競合店差 + 2.1pt (※②)
スロット稼働率 (※①)	28.0%	24.1%	+ 3.9pt	競合店差 ▲ 4.1pt (※②)
総設置台数	194,108台	185,433台	+ 8,675台	設置台数業界シェア 5.7%
スマートパチンコ設置台数	3,673台	0台	+ 3,673台	パチンコ設置総台数に占める割合 2.8%
スマートスロット設置台数	18,810台	4,956台	+ 13,854台	スロット設置総台数に占める割合 29.4%
P B機設置台数	13,202台	13,127台	+ 75台	設置割合10.1% (※③)

※① 稼働率…ピーク時（15時及び19時平均）の[実客数／設置台数]2023年4月1日～2024年3月31日の平均

※② 競合店の数値は全国のダイナム店舗近隣に所在する約1,200店舗に対して実施する客数調査をもとに算出

※③ 設置割合はパチンコ設置台数に対する割合

【目次】

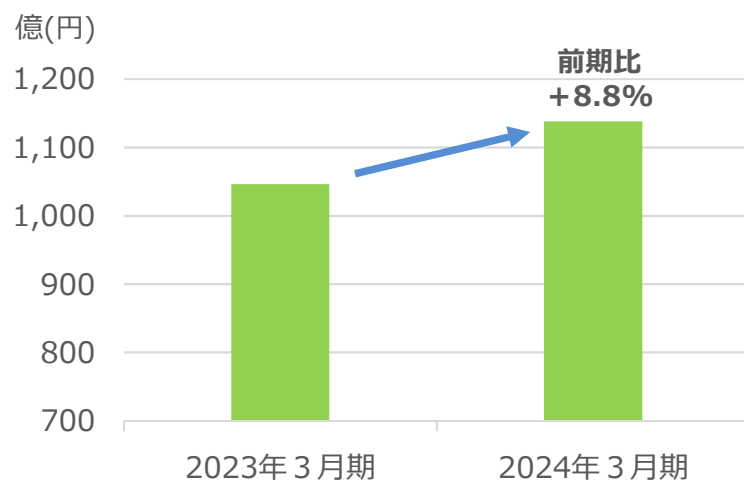
1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコ事業（基幹会社ダイナム）
4. 航空機リース事業
5. 財務概況

3. パチンコ事業（基幹会社ダイナム）

（1）パチンコ事業収入の推移

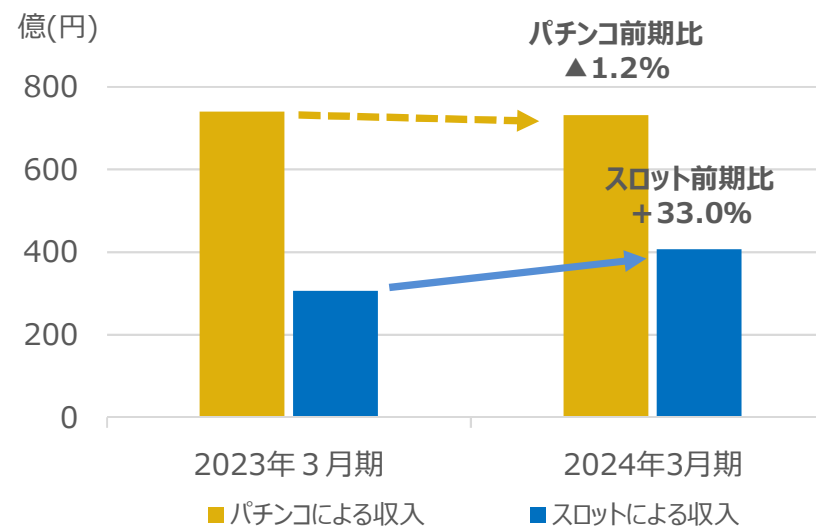
- スロット機の好調により事業収入は大幅な増収で着地。
- スマートスロット機の導入を契機にスロット機の増台を131店舗で実施し、増収に貢献。
- 高貸玉店舗を中心に大規模修繕を伴うリニューアルを10店舗で実施。
- M&Aによる店舗数の拡大。2 法人より7 店舗を取得。

事業収入（パチンコ・スロット合計）



前期比 +8.8%

事業収入（パチンコ・スロット別）



スロットによる収入 前期比 +33.0%

3. パチンコ事業（基幹会社ダイナム）

(2) 経費

- 機械費は、過去に購入した遊技機の減価償却により増加。機械購入額は年々減少させており2025年3月期以降は減価償却負担の軽減による利益改善効果を見込む。
- 店舗の成長投資を積極的に実施した結果、修繕費、固定資産の減価償却費が増加。水道光熱費は、電気代の高騰が続く中、節電の取り組みにより前年を下回る結果。

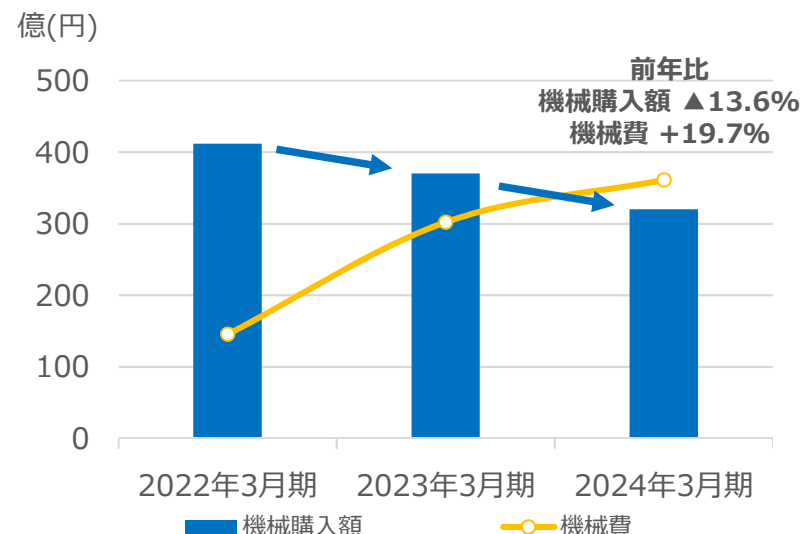
経費の推移

百万円

勘定科目	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
機械費	14,527	30,211	36,156
人件費計	36,428	34,280	35,014
変動費計	12,235	14,963	15,448
水道光熱費	4,588	6,612	6,407
修繕費	1,861	2,341	3,284
固定費計	28,794	27,725	27,342
減価償却費	7,535	6,581	6,827

修繕費) 前年差+9.4億円 減価償却費) 前年差+2.4億円
水道光熱費) 前年差▲2.0億円 ※M&A除く

機械費の推移



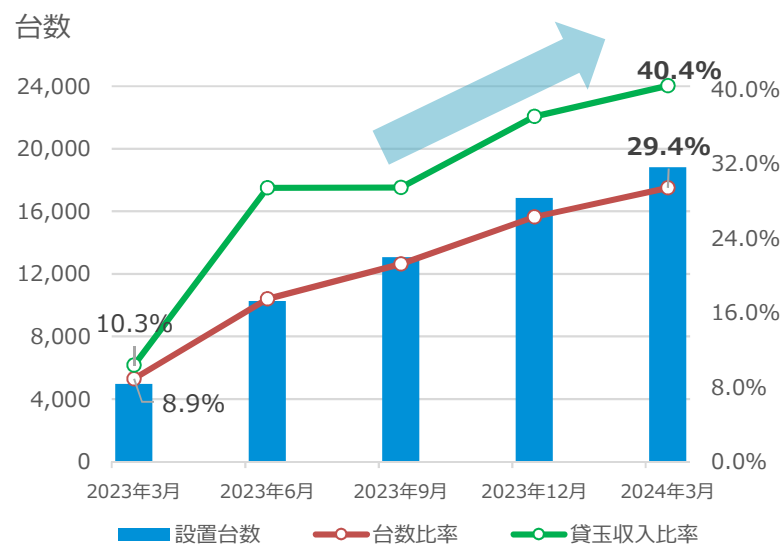
機械購入額) 前年比▲13.6%
機械費) 前年比+19.7%

3. パチンコ事業（基幹会社ダイナム）

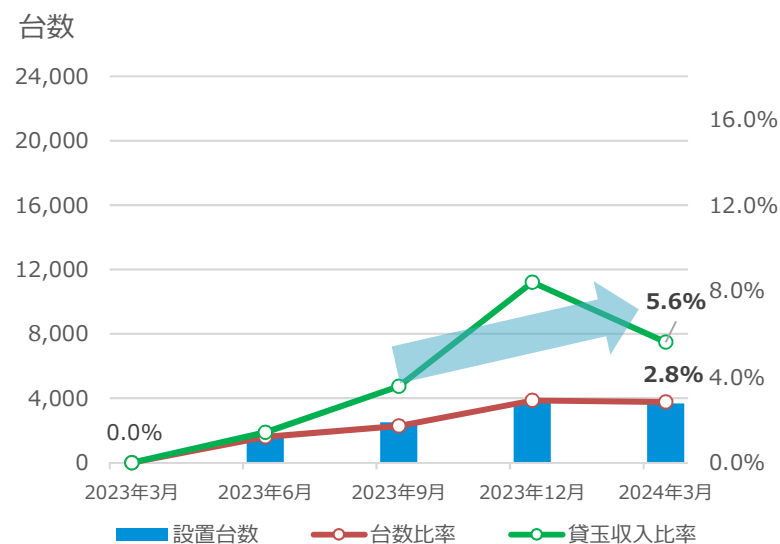
(3) スマート遊技機の導入実績と成長投資

- スマートスロットは、18,810台の設置。スロット内の設置比率は29.4%まで拡大。
- スマートパチンコは、3,673台の設置。パチンコ内の設置比率は2.8%に留まる。
- スマートパチンコにおいても稼働が好調な遊技機が登場しており、今後、多数機種種の発売が予定されている。今後は、スマートスロット・パチンコに適切な投資を継続し、収益力向上を企図。

スマートスロット_導入実績



スマートパチンコ_導入実績



3. パチンコ事業（基幹会社ダイナム）

（4）今後の成長戦略

- 既存店の大規模修繕を伴うリニューアルの継続による収益力向上
- プライベートブランド遊技機の開発強化・育成による顧客ニーズへの対応
- 地球環境（気候変動対策）に配慮した持続可能な店舗づくり

大規模修繕を伴うリニューアルによる営業再建



統一されたデザイン、カラーにて店舗内外を刷新。
遊技機設置台数の増設、店舗設備における経年劣化の修繕。

環境マネジメント（主な取り組み）

エネルギー消費の適正管理

- エネルギー管理システム導入(BEMS)
- 店内照明のLED化
- 遊技機エコモード活用
- 太陽光発電パネル設置

節水対策

- ・節水型トイレ、バルブの設置

廃棄物を出さない仕組み(適切処理)

- 遊技機(中古機)の有効利用
(二次利用、三次利用)
- 木造店舗
- 遊技機リサイクル
- 一般廃棄物の再資源化

グリーンITの推進

- 社内文書のペーパーレス化



BEMS & LED照明
(全店導入済)



EVスタンド
(313店舗導入済)



太陽光発電パネル
(上期40店舗へ導入予定)

【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコ事業（基幹会社ダイナム）
4. 航空機リース事業
5. 財務概況

4. 航空機リース事業

業績ハイライト（百万円）

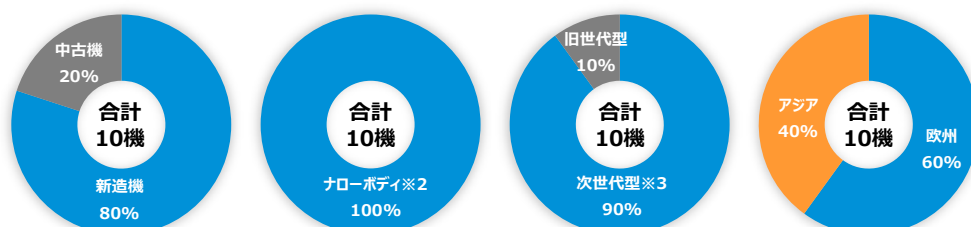
	当期	前期	増減
リース事業収入	5,883	2,875	+3,008
当期利益	908	372	+536
航空機資産残高	81,363	41,130	+40,233

航空機資産の保有状況

	当期末	前期末	増減
保有・管理機体（機）	17	6	+11
保有	10	6	+4
管理	7	0	+7
平均機齢（年）	1.9	2.1	▲0.2
平均リース期間（年）	6.0	5.3	+0.7
平均利回り（%）※1	8.1	8.1	0

- アイルランドのダブリンに日本人を含む9名の専門家が常駐し、リース業務全般を遂行。
- 当期は、アウトソースしていた航空機リース管理業務を内製化する体制を整備し、自社保有だけでなく他社が保有する航空機の管理を開始。
- 当期利益は、航空機資産残高の積上げおよび手数料収入の獲得を主因に前期比増益。
- 当期末に保有・管理する機体は17機。
- 保有する機体は機齢が若く、長期のリース期間を有する次世代型のナローボディ機。
- リース先エアラインは欧州とアジアのLCC。

航空機資産タイプ別・地域別内訳（保有機）



※1 表面利回り、年換算

※2 主に国内線や域内で使用される狭胴型の単通路機（エアバス社のA320シリーズやボーイング社のB737シリーズ）

※3 燃費効率の良いエンジン（プラット・アンド・ホイットニー社のPW1100GやCFMインターナショナル社のLeap）を搭載した機体

4. 航空機リース事業

今後の成長戦略

■ 航空機資産残高の増加

引き続き次世代型ナローボディ機を中心に優良エアラインへリースすることで利益を更に拡大。

■ ポートフォリオの分散

保有機体数の増加に伴い、機種、機齢、リース期間、リース先エアラインや地域などポートフォリオの分散化を図り、リスクをコントロール。

■ 航空機リースに関連する各種サービスの提供

内製化した航空機リース管理機能を活用し、他社へ各種サービス（航空機の調達、リース管理、再リース、助言・提案、市場動向やノウハウ）を提供し、手数料収入を獲得することで収益力を向上。

（トピックス）インドで最大シェアを誇るLCC「IndiGo社」の会社説明会を主催

- 2024年4月9日、東京の学士会館でIndiGo社、Airbus社と共に当社主催のセミナーを開催しました。当日はホール経営企業を中心とした多くの日本の投資家の皆様に参加いただき、日本からインドに対する航空機リース投資について議論を深めました。
- 当社は、今後も航空機リースに関する説明会や勉強会を開催するなど、投資家にとって有益な情報や投資機会を提供し、ともに発展することを目指してまいります。



説明会の様子

【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコ事業（基幹会社ダイナム）
4. 航空機リース事業
5. 財務概況

5. 財務概況

連結損益計算書 (IFRS)

(単位：百万円)

	当期 (2024/3)	前期 (2023/3)	増減	補足説明
営業収入	130,363	117,206	+13,157	
パチンコ事業収入	124,480	114,331	+10,149	高貸玉店舗 58,466(+2,473) 低貸玉店舗 66,014(+7,676) パチンコ 78,767 (▲1,208) スロット 45,712 (+11,357)
航空機リース事業収入	5,883	2,875	+3,008	保有航空機 +4機 (6機→10機)
パチンコ事業費用	118,673	110,484	+8,189	遊技機関連費用の増加 +6,001 修繕費の増加 +1,044
航空機リース事業費用	3,250	1,834	+1,416	
一般管理費	4,176	4,309	▲133	
その他収入	7,561	8,663	▲1,102	前期：店舗立退補償金の受取 817 (リニア中央新幹線：DY長野飯田店) 政府補助金受取額の減少 ▲385(539→154)
その他費用	2,842	2,478	+364	
営業利益	8,983	6,764	+2,219	
金融収益	807	450	+357	
金融費用	4,355	3,277	+1,078	
税引前当期利益	5,435	3,937	+1,498	
当期利益	3,385	1,798	+1,587	
EBITDA	53,205	43,729	+9,476	

(注) EBITDA は、当期利益に金融費用、税金、減価償却費(使用権資産償却費を除く)、為替差損益を加えて計算しております。

5. 財務概況



連結財政状態計算書（IFRS）

（単位：百万円）

	当期末 (2024/3)	前期末 (2023/3)	増減	当期末の主な内訳・前期末からの増減等			
				科目	当期末	前期末	増減
資産合計	366,045	325,608	+40,437	航空機	81,363	41,130	+40,233
				遊技機	31,911	36,281	▲4,370
				その他有形固定資産	70,087	69,465	+622
				使用権資産	84,129	76,741	+7,388
				現金及び預金	50,109	59,605	▲9,496
負債合計	234,557	197,181	+37,376	リース負債	98,008	91,697	+6,311
				未払金・未払費用	14,904	14,732	+172
				有利子負債	100,324	72,167	+28,157
資本金	15,000	15,000	-				
剰余金等	116,488	113,427	+3,061	当期利益(親会社帰属利益)	3,384	1,806	+1,578
				配当支払額	▲3,545	▲3,669	+124
				その他の当期包括利益等	3,222	▲692	+3,914
資本合計	131,488	128,427	+3,061	連結自己資本比率	35.9%	39.4%	▲3.5
負債及び資本合計	366,045	325,608	+40,437				

連結有利子負債及び自己資本比率（IFRS）

（単位：百万円）

【連結有利子負債】

	当期末 (2024/3)	比率	前期末 (2023/3)	比率
現金及び預金	50,109	13.7%	59,605	18.3%
有利子負債合計	100,324	27.4%	72,167	22.2%
有利子負債(リコースローン)	51,661	14.1%	47,090	14.5%
有利子負債(ノンリコースローン)	48,663	13.3%	25,077	7.7%
ネットキャッシュ	▲50,215	▲13.7%	▲12,562	▲3.9%
資産合計	366,045	100.0%	325,608	100.0%

航空機リース事業にて、新造機4機の新規購入等があり、ネットキャッシュは 37,653百万円減少。

【連結自己資本比率】

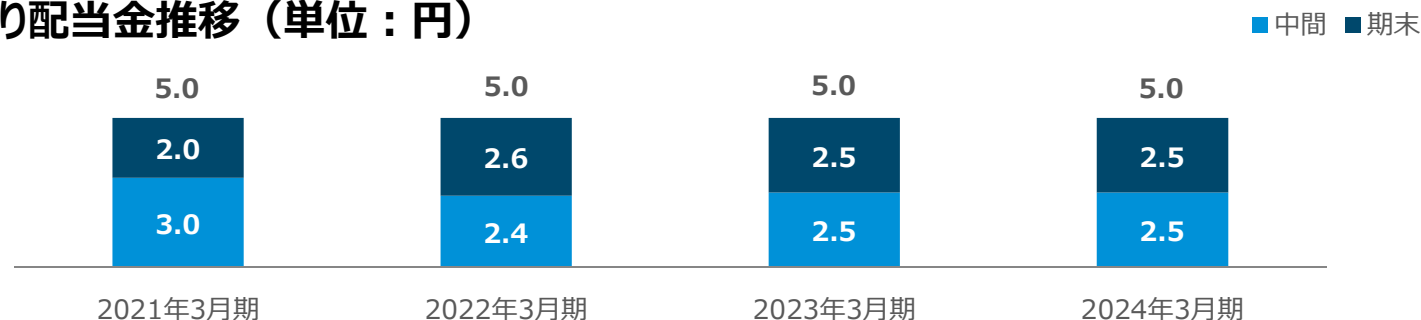
	当期末 (2024/3)	比率	前期末 (2023/3)	比率
資本金	15,000	4.1%	15,000	4.6%
剰余金等	116,488	31.8%	113,427	34.8%
資本合計	131,488	35.9%	128,427	39.4%
資産合計	366,045	100.0%	325,608	100.0%

期末配当金 1株当たり配当金 2.5円

■ 配当額

	期末配当	中間配当	年間配当
配当基準日	2024年6月6日	2023年12月14日	-
1株当たり配当金	2.5円	2.5円	5.0円
配当金総額	1,741百万円	1,762百万円	3,503百万円
配当金支払日	2024年6月26日	2024年1月12日	-

■ 1株当たり配当金推移（単位：円）



（参考）当期において、自己株式 17,043,200株（発行済株式の約2.4%）の市場買付を実施。

免責事項と著作権について

この資料に掲載されている今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生などにより、本資料掲載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報につきましては開示に努めて参りますが、本資料掲載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えいただきますようお願い致します。

なお、いかなる目的であっても、当社の事前の同意がない限り、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

(株) ダイナムジャパンホールディングス 財務・広報グループ

mail : info@dyjh.co.jp